

●各遺跡の概要（国史跡「奄美大島要塞跡及び大島防備隊跡 附 大島需品支庫跡」）

安脚場砲台跡（あんきゃばほうだいあと） 令和5年3月20日指定

安脚場砲台跡は瀬戸内町渡連（加計呂麻島の東端）に所在する遺跡です。

1921（大正10）年に砲台建設が開始され、陸軍撤退後は、海軍により使用されました。

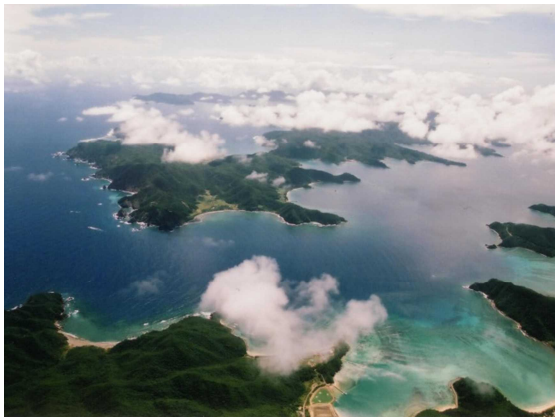
大島海峡東口より侵入する敵艦を阻止するため、海峡東口の海中に管制機雷を設置し、衛所で聴音、監視を行っていました。

現在、陸軍建設の砲座跡4基、砲側庫跡2基、海軍が建設した衛所跡などが残っています。

公園化されており、上記、施設を見学することができます。



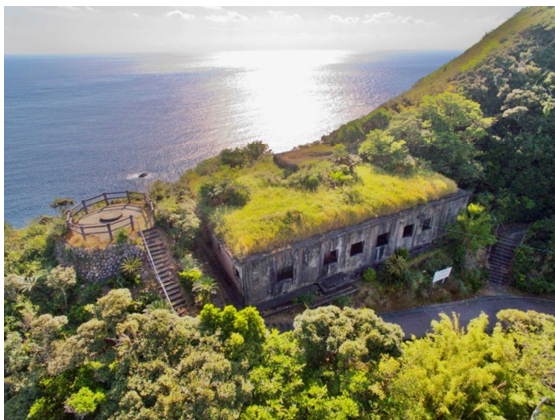
※令和5年3月に作成したマップです。



大島海峡東口及び安脚場砲台跡（遠景）



安脚場砲台跡（全景）



衛所跡（遠景）



砲側庫跡